

PCSA アクションレポート(遊技法研究会)

平成 31 年 6 月版

第 76 回遊技法研究会

- 開催日時 令和 1 年 6 月 20 日（木） 午後 2 時 45 分～午後 3 時 45 分
 開催場所 TKP 上野駅前会ビジネスセンター 3 階 3A
 出席人数 担当理事 1 名、委員 11 名、アドバイザー 7 名、オブザーバー 3 名、合計 22 名
 出席者 <担当理事>
 石川 直史 株式会社ワールド 代表取締役社長、理事
 <委員長>
 荒田 政雄 夢コーポレーション株式会社 顧問、法律問題研究部会 リーダー
 <遊技機検討小部会 副委員長>
 大石 明德 株式会社ニラク 取締役、副代表理事
 <遊技機検討小部会 委員>
 城山 朝春 ミカド観光株式会社 常務取締役、理事
 福井 宏彰 株式会社加賀屋 代表取締役社長、理事
 金光 淳用 株式会社ヒカリシステム 代表取締役社長、理事
 河本 成佑 株式会社晋陽 代表取締役社長、理事
 藤田 宏 株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所 代表取締役社長、アドバイザー
 <景品検討小部会 委員>
 國澤 良平 株式会社大商 景品流通部部長
 山本 聡 一般社団法人日本流通商健全化協会 代表理事
 小玉 幹雄 株式会社昭和堂 専務取締役
 岡本 健 株式会社東和商事 常務取締役
 <アドバイザー>
 加藤 英則 夢コーポレーション株式会社 代表取締役社長、代表理事
 金本 朝樹 株式会社アメニティーズ 代表取締役社長、副代表理事
 藤本 達司 株式会社ダイナム 代表取締役社長、理事
 山田 孝志 株式会社 TRY&TRUST 代表取締役社長、理事
 宮村 伸輔 株式会社エルゴジャパン 常務取締役、監事
 佐藤 公平 株式会社ダイナム 取締役会長、モデレーター
 牛島 憲明 牛島憲明事務所 代表、アドバイザー
 <オブザーバー>
 伊藤 信明 オムロンアミューズメント株式会社 営業課長
 桜井 一英 株式会社ビジョンサーチ社 代表取締役社長
 前川 竹志 株式会社インターコスモス 取締役部長

1) 風営法議連遊技機基準 PT(4 回)、提言書について

<概要>

令和元年 3 月 12 日から 4 月 25 日に 4 回の会合を開き、提言をまとめ、国家公安委員会委員長に提出した。提言の内容は保通協による遊技機試験の適合率が低い水準に留まっていることを指摘した上で、下記の 5 つを挙げた。

- ① 型式試験（＝遊技機試験）の結果を開示する等、適合を容易にするための方策を取り、適合率を向上させること
- ② 遊技機のゲーム性、エンターテインメント性の向上にも配慮し、そうした遊技機が開発可能な環境整備に努めること
- ③ ①と②について、警察当局とパチンコ業界の協議の場を定期的に設けること
- ④ 射幸性の高さとギャンブル等依存との因果関係が科学的に立証されていないことを踏まえ、科学的な知見を蓄積しながら、制度や実務運用が客観的且つ合理的なものになるよう必要な見直しを検討すること。
- ⑤ 「[ATM の撤去等]が法令に基づき求められているものではないとした上で）パチンコ・パチスロ産業が、増加する訪日外国人観光客の娯楽の受け皿となりうるよう、警察当局はキャッシュレス社会に対応するイノベーション促進を妨げないよう、最大限配慮すべき。

<意見>

- ・PCSA は法改正という事を目指しているの、その方向性に関しては議連に期待している。
- ・一昨日の日遊協での課長講話で、議連への回答を含んで話されていた。
- ・議連の目的は何なのか。何をやろうとしているのか。 > 適合率を上げるために議連を動かした、という説もある。
- ・議連の目的と外れていても意味がない。
- ・保通協には元々基準があったはずだが、議連に指摘されて変化するというのはおかしい。
- ・保通協や警察庁に試験をもっとオープンにしてくれという要望を出すのは間違いではない。
- ・提言書にも開示するように記載があり、その結果適合率は少し上がっている。
- ・どの議員に言えばよいのか。 > PCSA との関係性、議連での立場を考えると秋元司議員か。
- ・風営法議連遊技機基準 PT は、選挙が終わらないと動かないが、逆にその間に PCSA の提案をまとめられる。
- ・尾立氏は、業界の協力を得るために都道府県を訪問していると聞いている。
- ・他の議員に対してのパチンコ業界としてのアピールが必要。今は、影響力はゼロに近い。議員のホームページを見てもパチンコに関する記載がない。
- ・銃に関しても銃業界の議員がおり、銃の犯罪が起こった時に議員がちゃんと緩和に動く。議員と銃業界との間で意思疎通が出来ている。今回の選挙は、まずは意見を言うチャンスになる。
- ・銃を持っている人はそれが便益者。しかし、パチンコではユーザーが便益者になる。そこは異なる。
- ・田畑を荒らす害獣を駆除するため銃が必要となると、各都道府県に銃業界の議員が説明に行っているという話は聞いた。パチンコ業界がこの規模で議員を持っていないということ自体が不思議。
- ・業界が 1 枚板ではない。そこで、全体の共通項を要望していくべき。機械問題はメーカーやホールにとっても共通の要望。保通協の仕組みをなんとかしてくれというのも重要。
- ・尾立氏が落選したら逆に大きな影響がある。
- ・選挙明けに秋元司先生をお呼びして勉強会を開催したい。（2019 年 8 月頃）
- ・また、尾立氏が当選したらお話を伺いたい。

2) 軽減税率でインボイス制度と古物商について

<意見>

- ・インボイス制度について。古物商の免許を取得すればインボイスが不要になると聞いた。しかし、古物商を取ると 1 万円以上で記名が必要ならず。何か情報はないか。

- ・今後、この部分についても調査したい。

3) 依存という言葉について

<意見>

- ・依存問題は現在、業界にとっても大きな課題となっているが、「依存」という言葉のとらえ方が人によって曖昧であり、その点について問題が掘り下げられていないと思う。何を持って依存なのか、どこが問題なのか。
- ・自分でコントロールできなくて、生活や他人に迷惑をかけているというのが問題ではないかと個人的には考えている。射幸性が一概に悪いわけではなく、適度な依存はあって良いと認識している。最近では依存があればすべて悪いという風潮があるが、そうではないと思う。
- ・何かに依存しないと生きていけないという面もある。
- ・こういった考え方は業界内でコンセンサスになっているのか。
- ・なっていない。政府が言及している依存と、業界の依存の考え方が異なっている。政府は「依存を出してはいけない。抑え込まないといけない」と考えており、その為に入り口で排除しお金を使わないようにとさせている。
- ・一定の依存があることを前提に、そこから問題化するまで途中でリスクを減らすようにしていきたい。
- ・射幸性と依存の因果関係が散々出てくるが、この時の依存は「何」なのか。射幸性が依存の真の原因であれば、金額を落とす事で効果はあると思うがそうとも思えない。
- ・業界で考えている「依存」の定義がはっきりして明確であれば外部に発言、発信できる。しかし、このままでは、「パチンコは悪」という事で進んでしまう。
- ・依存問題は、パチンコの存在意義に係る事だと考えている。
- ・次回は依存の面からも皆様のご意見を伺いたい。

4) 次回開催

令和1年7月18日（木）

午後2時45分～午後3時45分

TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター 3階 3B

以上